



吉井あきら

市政報告通信

Vol.17
2014.Oct

吉井あきらが2期目の4年間で取り組んだこと、実現したこと… そしてこれから取り組んでいきたいこと



安祥寺川はり出し歩道設置 (平成26年度末完了予定)

20年来の案件でありました渋谷街道からの北部、南部の狭隘な安祥寺川沿い道路について、まず渋谷街道～今屋敷橋までの間のはり出し歩道が設置されることとなりました。(工事中)

これにより、子どもたちの登下校時の、また地域の皆さんの安心安全の確保に一步前進できたと思います。

引き続き渋谷街道北部につきましても、早急に安全対策を図っていけるよう努力いたします。



「不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例」の制定

いわゆるごみ屋敷問題を抱える京都市において、私の昨年9月市会での代表質問を契機に検討が進められ、この度、条例制定への運びとなりました。

近隣居住者の皆さんはもちろんのこと、居住者の方とも丁寧に寄り添いながら、解決に向け進める条例となっています。

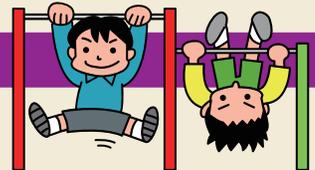


「京都市いじめの防止等に関する条例」の制定

将来ある子どもが「いじめ」を理由に自らの命を自らの手で絶つということという二度とないよう、また子どもが被害者にも加害者にもならないよう、いじめ根絶のため、この条例を制定。

共産党京都市議団はこの条例に反対。それも第4条の「子どもはいかなる場合においてもいじめを行ってはならない」という部分を、また規範意識を養うことまで削除を要求。

子どもが主体的に「いじめ」を考え、促えることが必要なのに、考えたくないもの・見たくないものを隠すことが本当に良いのでしょうか。(共産党の提案は大人の都合のように思え)、これで本当にいじめがなくなると思っているのか、これで本当に子どもたちのことを考えているのか疑問です。



山科から子育て・家事で多忙な女性が働きやすい環境整備

子どもの急な事情の時、また早朝、夕刻等、一定必要とする時間を一切気遣いなく確保できるよう、山科の企業の皆さんと一緒にご相談させていただきながら、あらゆる角度から検証しつつ、山科から女性が働きやすい環境の整備に努めます。



～来夏の中学校教科書採択!子どもたちの為に日本の為に全力を尽くす!～

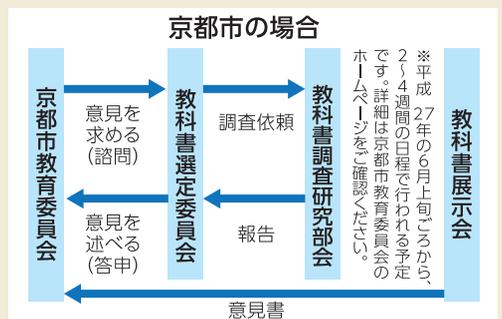
これまで取り組んできました中学校教科書採択(歴史教科書)が、いよいよ来年夏に迫ってきました。

私は、政治的な主張にとらわれず、子どもたちが学ぶ基本となる教科書の記述が正しくないものは、使用するべきではないと主張してきました。

子どもたちは教科書はすべて正しい、当たり前ですがそう信じて学びます。

その教科書が一部の政治的主張で選ばれることはありません。

日本の将来を担う子どもたちの為、正しい教科書で学べるよう来夏の採択に向け全力を注ぎます。



吉井あきらが2期目の4年間で取り組んだこと、実現したこと… そしてこれから取り組んでいきたいこと



～子どもたちの教育環境の整備～

平成23年度～26年度 山科区の学校トイレ改修工事
<整備校一覧>

年度	学校名	事業内容
23	山科中学校	快適トイレ整備 2号館1階～3階
23	勸修中学校	快適トイレ整備 北校舎1階～4階
24	音羽川小学校	快適トイレ整備 第2校舎1階・2階
25	山階小学校	学校施設長寿命化事業 南校舎1階～3階 本館1階
25	勸修小学校	快適トイレ整備 本館1階～3階
25	大宅小学校	洋式トイレ整備(大便器10穴を洋式化)
26	鏡山小学校	快適トイレ整備 北校舎1階～3階
26	山階南小学校	洋式トイレ整備(大便器15穴を洋式化)
26	山科中学校	洋式トイレ整備(大便器10穴を洋式化)



地域の安心安全の確保の向上

市は街頭防犯カメラ設置促進補助事業に力を入れ、平成24年度から補助制度を創設後、平成25・26年度の2か年で3倍以上の予算確保。

(実績)	24年度	48台(17団体)	
	25年度	154台(42団体)	
	26年度	154台(55団体)	※補正予算にて80台確保
	トータル	356台(114団体)	※補正含む 436台

○23年度モデル事業を含むと364台(118団体)
※さらに補正含む 444台

今後の取組として、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動」の実施に向け、街頭防犯カメラの更なる拡充。
新たに民間事業者も対象にした防犯カメラの補助制度の創設を検討。



山科発展の為、子どもたちの将来の為に京都刑務所の土地利用!!

山科区は山科駅から大阪まで30数分、京都東インターや5つもの地下鉄駅があります。周辺部の交通不便地域の問題は抱えているものの、そのポテンシャルははかりしれません。

しかし一方で、青少年の犯罪率は全国的と比較しても非常に高く(山科署管内)、また軽犯罪は後を絶たず、最近では凶悪事件も発生しています。またスポーツ・文化施設、公園、高齢者の居場所が少なく、そもそも緑があまりにも少ない状況だと思えます。

現在、行政・区民の皆さんが力を合わせ地域の安心安全の確保、また緑を少しでも増やす取組を進めていただいております。

その取組により、少しずつは改善しておりますが、人口は微減、深い歴史があるにも関わらず、魅力ある山科にまでは至っていないと思えます。

私は魅力ある山科にする為にも、改めて山科の町並、まちづくりを考えていく必要があると思えます。

今、山科を見渡し、現状を考えますと、山科の中心部にある京都刑務所(10万7千平米)の土地利用しか他にないのではないのでしょうか。

地下鉄駅まで数分の立地条件、深い歴史のなかにも山科のシンボリックになるような新しいものを考え、新旧調和のとれた山科に発展させていく。そのことが必ず山科の安心安全、また子どもたちの教育向上にもつながっていくと思えます。

大切なことは、その計画の最初から最後までを区民、近隣地域の皆さん、専門家、行政と一緒に考えていくことです。公園? スポーツ・文化施設? 学校? 高齢者の居場所? 住宅? みんなで将来の山科を考えましょう!!

当然ながら、その前に刑務所移転、廃止が実行できなければ無理な話ですし、大変高いハードルです。無論、議論の結果、今のままでの選択肢もあるでしょう。

しかし、山科で今を生きる我々の責任として進めていかなければならないと思えますし、山科区民の皆さんの大きな力があれば必ず進められると思えます。

どうかお力添えの程、よろしくお願い致します。



京都市議員として8年目に入り、京都市発展のため市民の皆様からのご意見・ご要望を真摯に聞かせていただき「すぐに行動」「現地・現場主義」をモットーに全力を尽くして今後も頑張っております。また、自由民主党の議員として多岐にわたる研修や勉強会において様々な方面の見識を深め、常に向上心を持ち、初心忘れることなく、全身全霊全力で頑張っておりますので、皆様方の温かく力強いご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成26年10月 吉日

京都市議員 吉井あきら

